2026年11月4日

報道関係各位

株式会社JPF

JPF、九島勇気選手が携わる「NIPPON OPEN 2026」に協賛

～選手の挑戦と、サイクルスポーツの未来を支える～



「NIPPON OPEN 2026」への協賛と九島勇気選手への支援

株式会社JPF（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺俊太郎、以下「JPF」）は、2026年11月7日（土）・8日（日）に長野県の富士見パノラマリゾートで開催されるマウンテンバイク・ダウンヒル大会「NIPPON OPEN 2026 SUPPORTED BY SHIMANO」に、シルバースポンサーとして協賛いたします。

本大会では、JPFがサポートするマウンテンバイク・ダウンヒル選手の九島勇気選手がコース造成・監修を担当しています。JPFは、国内外で挑戦を続ける九島選手の競技活動に加え、その経験や知識を生かして新たな挑戦の機会を広げる取り組みに共感し、今回の協賛を決定しました。

NIPPON OPEN 2026について

「NIPPON OPEN」は、国内外のライダーが集うマウンテンバイク・ダウンヒル大会です。

2026年大会は富士見パノラマリゾートを舞台に開催され、九島選手が国内外の競技経験を生かして手がける大会専用コースが設けられます。

キッズやビギナーからトップライダーまで幅広いカテゴリーが用意され、さまざまなレベルの選手が挑戦できる大会です。競技の迫力や魅力を伝えるとともに、次世代の選手が成長し、新たに競技へ挑戦するきっかけを生み出すことも目指しています。

JPF Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.



九島勇気選手への支援とJPFの取り組み

JPFは、サイクルスポーツの普及・振興に取り組む中で、競技に触れるきっかけづくりから継続的な活動、競技者としての成長まで、さまざまな段階に応じた環境づくりや支援を進めています。

その一環として、競技の第一線で挑戦を続ける選手の活動をサポートするとともに、選手が培ってきた経験や知識を次世代へつなぎ、サイクルスポーツの魅力や可能性を広げることを目指しています。

九島選手は、国内外のレースに挑戦する一方で、競技経験を生かしたコースづくりや大会運営にも携わっています。

JPFは、こうした九島選手の競技者としての挑戦と、競技の場を広げる取り組みの双方を支援し、次世代のライダーが挑戦できる環境の広がりを後押ししてまいります。

九島勇気選手 プロフィール



6歳からBMXレースを始め、14歳頃にマウンテンバイク・ダウンヒルへ転向。2011年よりUCIダウンヒル・ワールドカップに参戦し、10年以上にわたり国内外で活動している。
現在も選手として挑戦を続ける一方、海外レースで培った経験を次世代のライダーに伝え、国内の競技環境づくりやマウンテンバイク競技の普及・発展にも取り組んでいる。

【主な戦績】
・2016年・2023年　全日本選手権 優勝
・2017年　　アジア選手権 優勝

JPF
Jump for Positive Future

2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

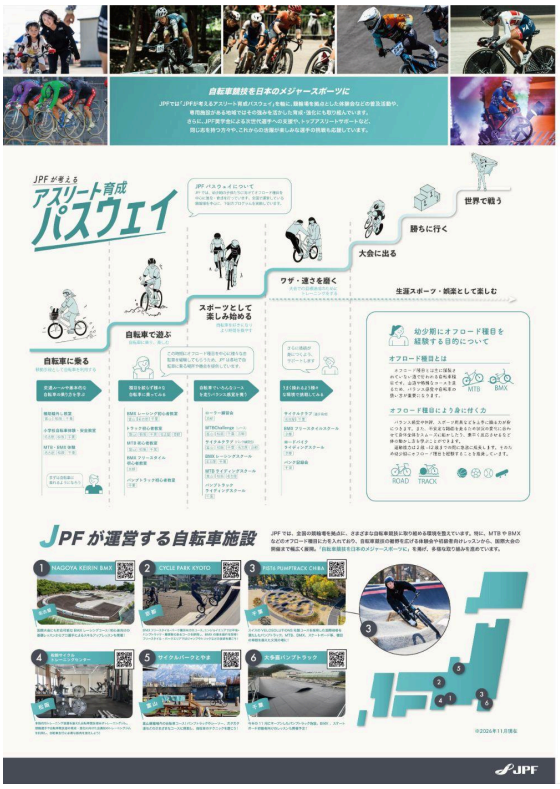
大会当日のJPFブース出展について

JPFは、大会期間中、会場内にPRブースを出展します。

ブースでは、JPFが全国各地で取り組むサイクルスポーツの普及・育成活動や、自転車競技に取り組める施設を紹介するパネルを展示します。また、子どもたちがマウンテンバイクに親しみ、競技に挑戦する機会を提供する「JPF Presents MTB Challenge」の取り組みや、今後の開催情報についても紹介します。

さらに、JPF公式Instagramをフォローいただいた方を対象に、アウトドアグッズなどが当たる、はずれなしの「おでかけグッズくじ」を実施予定です。

ご来場の際は、ぜひJPFブースにもお立ち寄りください。





大会概要

・大会名：NIPPON OPEN 2026 SUPPORTED BY SHIMANO
・開催日：2026年11月7日（土）・8日（日）
・会場：富士見パノラマリゾート（長野県諏訪郡富士見町）
・競技種目：マウンテンバイク・ダウンヒル
・主催：NIPPON OPEN実行委員会
・コース造成・監修：九島勇気
・JPF協賛区分：シルバースポンサー
・大会公式サイト：https://nipponopen.base.shop/

JPF Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。
https://drive.google.com/drive/folders/1bjjBqtbeyvPfuyRC_QfTuADNMIZEn3Eo?usp=drive_link

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF
公営競技運営部（担当：清水）
TEL：03-6697-7166
問い合わせURL：https://www.jpf.co.jp/contact/press/

【問い合わせQRコード】

JPF Jump for Positive Future
2021 Copyright © JPF Co., Ltd. All Rights Reserved.